

ビールの「敵」を次の成長戦略に **キリンHD**が乳酸菌で一大攻勢

財界

Z A I K A I
a Japanese business biweekly

SMBC日興証券
相場操縦事件の教訓
『稼ぐ人達』に組織が
引きずられた理由

2022 4/6

◎インタビュー
日本総合研究所会長
寺島 実郎
元内閣官房副長官補
兼原 信克
USEN-NEXT
HOLDINGS 社長 CEO
宇野 康秀

これからのオフィス需要、そして生き方・働き方は――

本誌主筆 村田 博文

環境
激変の
時代

ビューリック会長・西浦三郎の危機管理学

オフィス賃貸に加え、介護、学童保育に注力する理由



表紙の人
ビューリック会長
西浦 三郎
撮影 齊田 勤

令和4年4月6日発行(隔週水曜日)令和4年3月23日発売
昭和28年10月3日第三種郵便物認可 第70巻第8号



いけだ・よしお

大阪医科大学卒業。1996年大阪医科大学附属病院形成外科入局。同大学附属病院形成外科病棟医長、東海大学病院形成外科・美容外科臨床助手を経て、2000年大阪いけだクリニック開院。04年銀座いけだクリニック開院。現在は東京皮膚科・形成外科総院長の他、東海大学病院形成外科非常勤講師、一般社団法人・JAAS日本アンチエイジング外科学会理事長をつとめる。

高橋さんはどうしてこの業界に入ったんですか。

高橋 YouTube業界に入ったのは4年ぐらい前です。もともとはインターネット関係の仕事をしていました。IT業界に入ったのは、新しい市場だったので一番を取れるかなって思ったからです。

例えば僕がいくら不動産業の知識を話しても「何言ってるんだ、ガキが」ってなりませんが、インターネットの話だと「高橋君、教えてよ」ってなりやすかったですからね。

でも、いかにせん、IT業界が倒

さないといけないのはアマゾン、グーグルといった大企業の黒船なので、これはやっぱり一番取るのは難しいなと思います、ちよど次のポジションに来そうだったYouTubeの業界に入りました。

池田 インターネット系の会社はいつ立ち上げたんですか。

高橋 25歳頃です。もともとは僕、16歳で独立して、高校も三カ月で中退したんです。カードゲームのムシキングが流行った時にクワガタの値段が高騰したので、友達とプレハブでバラワンヒラタクワガタっていう

の育ててインターネットで売ってたんですよ。

日本では輸入があまりされていないクワガタだったので、おかげで16歳で年収が1000万円を超えました。

池田 その時はもうパソコンが使えていたんですか。

高橋 僕はそれほどできなくて、タイピングも怪しいぐらいだったんですが、友人が得意だったので、インターネットでオークションに上げてくれたりしました。

その後はムシキングが流行らなくなってきたので、クワガタは全部売り切って、ガソリンスタンドでバイトを始めました。

時給800円だったんですが、「カード促進」ってあるじゃないですか、「カード入会しませんか」みたいな。あれで全国1位になったんです。

池田 何か秘訣があったんですか？

高橋 たぶん愛想が良かったからですかね。「お願いしますー」みたいな感じで、特に中高年の男性の方に可愛がられました。でも、全国1位を取っても時給が30円しか上がらなかったんで、やっぱり自分でやった方がいいなと思って、18歳で埼玉熊谷市から上京しました。

結局、仕事がついて、置き手紙を書いて夜逃げしました(笑)。

池田 僕、こういう人、好きなんですよね。

高橋 それからは知り合いの飲食店オーナーが詐欺にあったので、立て直しの手伝いをして、一応5店舗ぐらいまで1年ちよどつとの間に増やしました。その後、25歳で初めて自分で立ち上げたのがIT会社です。広告やホームページの制作をしていました。

その後はエンジニア派遣会社も興しました。従業員は150人ぐらいまで増えて年商も5〜6億円ありましたが、労働収益型ってあまり楽しくないなと思っていたところに、インターネットメディアの会社の役員にヘッドハンティングされたんです。

YouTubeは、誰でも一人で立ち上げる事ができるテレビ局です。

東京皮膚科・形成外科 総院長 株式会社Guild代表取締役
池田 欣生 × 高橋将一



たかはし・まさかつ

2019年Guildを設立。日本最大のエージェント型クリエイター支援企業、YouTubeチャンネルサポート数は約400チャンネルとアパレルブランド「ReZARAD」で年商130億円。

今回のゲストはYouTube業界の最大手Guild代表取締役・高橋将一さんです。近年YouTubeは若人たちに人気を得て、その影響は既成のテレビ局を脅かす存在になっている。高橋社長のGuildは、日本最大のエージェント型クリエイター支援企業でチャンネル数は約400チャンネル、その他高橋社長はアパレル業にも進出し「ReZARAD」と合わせて年商130億円を展開している。YouTubeとは何か、その現状と未来など起業家精神旺盛な弱冠34歳の高橋社長と対談する。

16歳の時クワガタビジネスで年収一千万円

池田 今日株式会社Guild(ギルド)代表取締役の高橋将一さんにお越しいただきました。ギルドはYouTubeをサポートする会社ですね。僕は新しいビジネスをしている今一番すごい会社だと思っているんです。高橋さんは人気YouTuber、ヒカルさんのマネージャーであり、番組も制作していますね。

またタレントの宮迫博之さんと中田敦彦さんの「Win Win Win(ウインウインウイン)」とか「有頂天レストラン」も制作しています。

広告、ホームページ制作IT会社からYouTube業界に転身

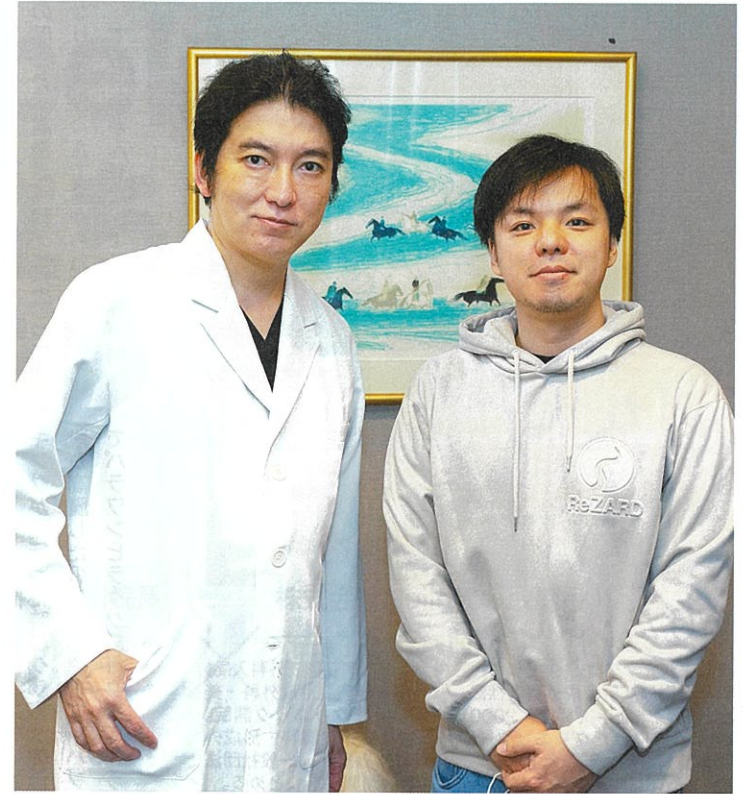
そこからフリーランスでスキナーやエステサロンの営業代行をしたり、弁当屋でバイトしたり、いろんなことをして、22歳でサービスエリアの商品をネット販売する会社へヘッドハンティングされて、そこで雇われ社長として23、24歳まで働きました。

結局、仕事がついて、置き手紙を書いて夜逃げしました(笑)。

池田 僕、こういう人、好きなんですよね。

高橋 それからは知り合いの飲食店オーナーが詐欺にあったので、立て直しの手伝いをして、一応5店舗ぐらいまで1年ちよどつとの間に増やしました。その後、25歳で初めて自分で立ち上げたのがIT会社です。広告やホームページの制作をしていました。

その後はエンジニア派遣会社も興しました。従業員は150人ぐらいまで増えて年商も5〜6億円ありましたが、労働収益型ってあまり楽しくないなと思っていたところに、インターネットメディアの会社の役員にヘッドハンティングされたんです。



キュレーションサイトのような記事を書いて、その記事から商品が買えるECサイトに飛べるみたいなことをセットでやっている会社です。そうしている時に今度はYouTube業界の会社「VAN」にヘッドハンティングされ、そこでYouTubeのヒカルさんに出会ったわけですよ。

高橋 当時は芸能人もいなかったですし、こんなに大きい市場になるとは思いませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったですね。芸能人が事務所を辞めて芸能界を干されるというケースが相次いでいる時期でもありました。

池田 入った時のYouTube業界ってどんな感じだったんですか。

高橋 僕は今は年商130億ぐらいですけど、一番大きいのはYouTubeの広告代理店業で、それ以外にも、アプリも行ってます。でも僕が今、やりたいなと思うのはブランド広告。イメージを良くする宣伝を打つ広告ですね。ブランド広告ってあまりまだインターネット広告に予算が下りてきてないんです。

YouTubeを成功させるには書き込み「コメント」を分析する

池田 高橋さんは干された宮迫さんたちにアドバイスやサポートをしているんですか。

高橋 僕がやり始めたら、チャンネル登録者がどんどん増えて100万人まで行きました。僕がやっていることは、最初はサラリーマンとして社会人になって、安い給料で頑張って10年ぐらい働いて、それで独立という時代でしたが、今の人たちはそういう過程をすっ飛ばしているじゃないですか。その方が今の若い子は憧れると思うんですよ。

1丁は初期費用がかからないのでビジネスチャンスが生まれる

池田 今後はどんなことをしていきたいですか。

高橋 僕は今が年商130億ぐらいですけど、一番大きいのはYouTubeの広告代理店業で、それ以外にも、アプリも行ってます。でも僕が今、やりたいなと思うのはブランド広告。イメージを良くする宣伝を打つ広告ですね。ブランド広告ってあまりまだインターネット広告に予算が下りてきてないんです。

池田 今後はどんなことをしていきたいですか。

高橋 もし余力が残ってれば、世界でチャレンジしたいなっていうのがあります。今、グーグルのサービスでYouTubeをやっていますが、手数料30%抜かれるじゃないですか。だから、自分たちが世界にチャレンジすることによって、日本にちゃんとお金が入るような仕組みを作りたいです。

株式会社Guild

東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビルディング9階WeWork内
HP <https://guild.to/about>

東京皮膚科・形成外科銀座院

〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 ラウンドクロス銀座 3F
TEL 03-3545-8000 HP <https://www.251901.net/>